

(参考様式5)

平成21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	上三川町	上文挾地区	平成18年度～ 平成20年度	平成18年度

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容：

イ 施策の実績

ウ 施策の効果

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード

ア 施策の内容：農業用水の安定した確保及び生活環境の改善と農業用施設の適正な管理を行うための活動の推進

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用排水施設	上三川町土地改良区	上三川町土地改良区
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
U型水路 L=713m	平成18年度	平成18年度	平成19年度4月1日	

事項	単位	計画時 (18年度)	目標値 (18年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
水路工	m	713	713	713	100	

(イ) 施設等の利用実績

施設等名 ()

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計	
平成 年度	〇〇室		人														%	
			日															%
		延べ利 用室数 〇〇〇	室															%
	△△室		人															%
			日															%
		延べ利 用室数 〇〇〇	室															%

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

水路が整備されたことにより、用水の安定的な水量の確保や、維持管理が軽減され生産性の向上が図られた。

※ 施設等の種類ごと、事業実施主体ごとに記載すること

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農業用排水施設等の機能の確保	18.2ha	18.2ha	100%	
地域	美しい農村・水田景観づくりに向けた実践活動数	年3回	年3回	100%	

3 目標の達成状況に関する評価

農業用排水施設等の整備を行うことにより、限られた水資源を効率的、安定的な水量が確保され、継続的な農地利用により目標を計画どおりに達成することができた。

また、非農家を含めたゴミ拾い、草刈りについて計画どおり達成する事ができた。

目標の達成により、地域の良い景観形成づくりが図られる。

4 総合評価

農業用排水施設等の整備により、農業用施設の維持保全管理が容易になり、安定した営農活動ができるようになった。

また、地域の良好な景観形成づくりに向け土地改良区が中心となって地域の協力を得ながら美しい景観が保持された。

(都道府県の意見)

農業用排水施設の整備により、維持管理費の低減と用水の安定供給が図られており、目標の達成はされている。

また、整備した施設の周辺の環境美化について、土地改良区を中心に地域住民を含めた環境美化活動等の共同活動の場としても今後期待ができる。